

安全部会の井上部会長が資料 45-1(安全評価結果)を2分弱で説明した後、5分の質疑応答があった。(「安全評価結果」の資料には JAXA が提出した説明の文書が添付されておらず、20日の安全部会で事務局が準備した、(参考や別紙を含めた)資料の本文が其の儘提出されており、字句の訂正も無かった。)

池上委員長:今のご報告と云う事ですが、あの、ご意見御座いますでしょうか。...(誰も発言なし)...あの一、何かその一、何て言うのか、議論になった点で云うのを挙げるとすれば、どんな事がありました? 此处で、あの一、要するにコントロールバーシャルなトピックスって無かったんでしたっけ。

井上:あの一、特別報告する様な大きな問題が有ったとは思いませんけども、まあ、あの、少し議論が有ったのは、実際の「きぼう」の中で、其れなりの装置を人が、宇宙飛行士が色々作業をする時に、宇宙飛行士が関わった事で、安全と云うものに問題が生ずる様な事が無いとかですネエ、それから、そう云う重量物、結構な質量を持った物が「きぼう」の中を斯う動いた時に、其れが害を及ぼす様な、そう云う事が考慮されるかとか、そう云う様な種類の事の質問が出ましたけれども、其れ自身については、あの、陽にはそう云う項目を挙げて審査されてはいなかったんですけども、夫々の評価の項目の中に、前提としてそう云うものが元々考えられていたと云う事で、特に問題が有ったと云うことではないんですけど、まあ、其の様に調査審議の項目は御座いました。

池上委員長:あの、一応、参加されていた河内山委員、或いは森尾委員、...

河内山:特にありません。

森尾:(聞き取れない)

池上委員長:此れ、中身から言うと、温度勾配炉ラック、あの要するに結晶成長用のあの、比較的大きな炉ってのは初めてですよネ。私の場合色々な議論をお聞きしたんですが、あの一、問題無ければ良いと...云う事で、今の処はあの、十分チェックしていると云う様なお話だったんで、私自身も納得は致しましたけども、あの、...まあ、一寸注目をして置かないといけない。

井上:まあ、そう云う意味ではあの一、此のラックの中に、更に夫々研究の目的を持った装置が組込まれて、色々な実験が行われると云う事で、そう云う意味で言うと、此のラックの更に向こう側に、一段インターフェイスが有って、其の向う側については此れからは JAXA の方で、中で審議して頂いて、此処に其れが上がって来る事は無い訳ですけども、まあ、そう云う処で想定される色々なハザードについては、全体に網羅されたと云う事です。

池上委員長:後此れは、安全審査について JAXA が NASA の方から任せられた最初の例になる訳ですネ。ああ、じゃあ一寸。ア、スイマセン、小沢さん。

JAXA 小沢:はい、JAXA の安全を担当してます小沢で御座います。9月に NASA から審査権限が移譲されましたけれども、もう既に此の対象物については、其の権限を委譲される前に審査

を実施して居りまして、これはあの一、JAXA だけでやったものでは御座いません。

池上委員長: そうすと、NASA の審査と JAXA の審査、両方受けてて、今後は此れについても JAXA の方で、此の手のものは JAXA の方でやると云う事になる訳ですネ。

JAXA 小沢: はい。はい、其の通りです。

池上委員長: で、で、何か心配な事は、当人として、ありません？

JAXA 小沢: あの一、今、委員長が仰った通り大型の炉と云う事で、実験の炉では鉄が溶ける温度まで行ける、1600 度まで出せる様なもので御座います。でも、表面は人が触っても大丈夫な様な、タッチ・テンペラチャと云うのは45度以下、いや50度以下に抑えると云う事で、制御は十分出来ていると云う風に確認して御座います。

池上委員長: そう云う事で御座いまして、他になんかご意見御座いますでしょうか？ 野本委員、何か御座いますか？

野本: (発声なし。首を振られたのかも知れない。)

池上委員長: それでは、一応あの一、斯う云う事で、皆さんご了承頂きますでしょうか。どうも有難う御座いました。

【議事 2】 事務局の轟補佐が資料 45-2-1(現状報告)を 1 分半で説明した後、前回の議事録が確認されて議事を終了した。

池上委員長: HTV、今、表彰されてるんですネ。去年のがネ。

轟: はい。

池上委員長: 非常に嬉しい話で。何かご質問御座いませんか。エト、御座いません様でしたら、前回の宇宙開発委員会の議事要旨が...(以下省略)